

サマーリフレッシュセミナー

『自分を大切にすること』

自分を大切に～大切なあなたの心を育み 活気ある園へ～

日時/6月25日(水) 場所/たかつガーデン

講師(本文)/RUNWAY 代表 はしものりこ氏



「感情の起伏が激しい」
「考えを表現できない」
「自分の
から行動する」

セルフエステチームが低いと、欠乏感から自分を守る為の防衛行動が過剰になり、仕事や人間関係に影響が出てきます。防衛の仕方は様々ですが、「人の顔色を見ながら行動する」「自分の考えを表現できない」「感情の起伏が激しい」

自分を大切にしないと、心は満たされず欠乏感を持ち自尊心が低くなります。自尊心はセルフエステチームとも表現されます。簡単に言うと、「あるがままの自分を好意的に肯定する」ということです。自分を尊重し、能力についても正しく自己評価できて、自己好感を持つことができるということなのです。

保育園は様々な環境の多様な価値観を持った人が集まる場所です。その中で保育者はあらゆる立場になりながら懸け橋となり、「子どもの最善の利益」を遵守しています。保護者の持つ様々な状況や価値観を受け入れていく必要があるでしょうし、人格が形成されていく大切な時期である子どもの心と向き合うことも重要です。この環境下では、保育者は自分の心を見失いがちになってしまいます。保育者自身が自分の心を大切にすることが必要となるのです。

個人のセルフエステチームは職場の環境によっても影響してきます。お互いを尊重できるような風土があれば、セルフエステチームも高まることでしょう。保育園は、「愛の実践場」です。自分自身に愛を注ぎ、集う人たちが居心地の良い場所を作りだす努力をしましょう。愛に溢れている職場環境を作ることには子どもにも私たちにとても、多様な価値観が存在する現代社会を生き抜く力となるでしょう。

「心配・不安感が強い」「トゲのある言葉や皮肉を言う」「ごまかす・繕う」などの行動に表れてきます。保護者への対応や日々の仕事に影響が出てくるでしょう。また、指導者も叱りにくくなり人材育成にも困難をきたします。突然の欠勤や退職でマンパワーにもかかわってきます。また、職場で起こる問題は、セルフエステチームの低さからくるものが多いと言われています。これは、お互いの自己防衛がぶつかり合う結果でしょう。例えば保護者からの自己防衛行動を受けたとしても、保育者のセルフエステチームが高ければ、物事を曇った目ではなく判断し、本質を捉えて対応していくことができるのです。

研修報告

第1分科会(参加者29名)
「身体を使った集団あそび」

身体を使った集団あそびを学びました。体育用具を使ってあそびの意図やねらい、配慮を伝えていただき、子ども自身が集団で楽しめる体験をしました。



指示的・管理的でなく、具体的にねらいも分かりやすく教えていただき、園で伝えることのできる研修でした。

第2分科会(参加者30名)
「紙や廃材を使った造形あそび」

はさみの使い方や紙の面白さを伝えながら、さまざまな造形遊びを実践しました。

- ①ひこうき ②ほうき ③風のりひこうき
- ④人形 ⑤ボール ⑥サッカーゴール
- ⑦なるこカスタ ⑧紙筒シロフォン



- ⑦なるこカスタ ⑧紙筒シロフォン
- ⑨ふえ ⑩封筒マラカス ⑪動く舟